



令和6年度 人権集会を開催しました

12月16日(月)の5・6校時、中央小学校の体育館をお借りして、人権集会を開催しました。その内容を、以下に紹介します。

【目的】

- ① 人権について知り、人権に対する自分の考えを振り返ったり、他の人の考えに触れたりする中で、人権意識を図り、さまざまな人の立場に立って考えようとする態度を育てる。
- ② 学校生活のみならず、社会の中においても、いろいろな人が支え合って生きる共生社会の一員としての自覚をもたせる。
- ③ 学校生活や各学年・学級での人権学習を振り返り、人権尊重の気持ちを標語として表わし、自分の思いを周りの人へ発信する。

【集会までの事前学習として】

- ① 人権標語の作成 (いじめ防止標語コンテスト)
- ② 人権宣言の作成
- ③ 各学年での人権学習 (道徳)

○1年生：「困難を乗り越えて」

困難を乗り越え、絵を描き続ける主人公(星野富弘さん)に共感することをおして、人間としての強さや誇りをもってよりよく生きようとする心情を育てる。

○2年生：「病気を乗り越えて」

骨肉腫を患い、車いす生活となりながらも、自分で人生を切り拓く小田凱人さんの姿をおして、自分らしく生きようとする心情を育てる。

○3年生：「失った笑顔を取り戻す」

働くことによって社会や他者の生き方を支えるという仕事の意義を理解し、社会に貢献しようとする実践意識を高める。



【人権実行委員としてがんばった生徒】

- ◇1年生：松崎脩真さん、山本星那さん、田中蒼空さん、橋本新乃丞さん、芦塚瑛太さん
- ◇2年生：松尾華音さん、森岡瑠那さん、山口心優さん、今道葵さん
- ◇3年生：片山美海さん、平石結菜さん、中島遼稀さん、永石翔也さん、村上隼斗さん

【人権集会のようす】

今年は、雲仙市瑞穂町を拠点に活動されている『瑞宝太鼓』の皆さんを講師としてお招きして、講話と演奏をしていただきました。以下に、『瑞宝太鼓』のプロフィールと集会の様子を紹介します。

『瑞宝太鼓』とは、

1987年に知的障がい者の余暇サークルとして発足。楽しみながら練習と演奏活動を続けてきたが、「プロになりたい」とたくさんのクラブ員から希望の声があがり、その夢を叶えるため、2001年に4名の団員で構成する『瑞宝太鼓』を結成。

今では、日本全国、時には世界を舞台に年100回以上の公演や講習活動を行う。

また、全国の少年院・刑務所での演奏や学校公演、東日本大震災での支援活動をおして社会貢献活動も行っている。「希望し、努力し、感謝して生きる」をテーマに、特技・特性を活かした活動を展開している。障がい者「夢大使」として、障がいのある人の想いや願い、生き方、希望をもち努力することの大切さを伝える活動を行っている。

2名の団員にお越しいただき(1名はなんと西大村中の先輩でした)、見事な演奏を披露して頂くだけでなく、それぞれに小中学校時代に経験した「いじめ」や「自分の苦手なこと」などの生い立ちを赤裸々に語っていただき、現在、希望をもって活躍する姿を堂々と見せてくださいました。生徒たちは、真剣に耳を傾けるとともに、最後は一緒に演奏体験をさせていただき、貴重な学びを経験しました。



大村市政にも貢献してくれました。多くの感謝の言葉が届きました

12月12日(木)に実施された、「大村市・安心・安全まちづくりパレード」に吹奏楽部の生徒たちが参加し、堂々とマーチングを披露してくれました。

大村市長、市議会議長、大村警察署長など、たくさんの偉い方々から、感謝の言葉と演奏を絶賛する声が多く寄せられました。

いつもは、地域の方々にお世話になっていますが、このように地域に貢献できる機会を与えていただいたことに感謝します。何よりも、笑顔で学びの力を発揮してくれた生徒たちの姿が、とても誇らしかったです。吹奏楽部の生徒の皆さん、ありがとうございました。



2年生対象に4校合同高校説明会を開催しました

12月13日(金)、大村市内にある大村高校、大村城南高校、大村工業高校、向陽高校の4校合同高校説明会を開催しました。4校の合言葉は「大村の子どもを大村で育てる」です。

まずは、大村市内の高校をしっかりと知っていただき、約1年後に迫ってきた進路選択に役立ててほしいと思います。寒い中、小雨の降る中に、たくさんの保護者の皆様にもご参観いただき、誠にありがとうございました。

生徒の皆さんは、今一度、下の言葉を意識して進路実現を目指してくださいね。

《世の中には、当たり前のことですが、「したいけど、してはいけないこと」や「したくないけど、しなければいけないこと」があります。そして、これらを決定したり、実行したりするとき、その場の雰囲気や感情、あるいは衝動に流されそうになる時があります。そんな時に自分を正しい方向にコントロールする力を「律する」といいます。自分を律することができる人間は、いざというときに「踏ん張る」ことができる人間です。そして、周りの人からすれば信頼ができる人間ということになります。》



あおぞら学級・ひだまり学級の生徒たちが活躍しました

12月12日(木)、西大村中学校区特別支援学級交流会が、西大村小学校体育館で開催されました。中央小・西大村小・西大村中の特別支援学級の児童生徒が一堂に会し、さまざまなレクリエーションを楽しむ、年に一度の交流会です。

まずは、一人一人が自己紹介を行い、その後は、中学生が主体となってじゃんけん列車を皮切りに、さまざまなレクリエーションが実施されました。中学生が、堂々と司会をしたり、小学生をお世話したりする姿や、小学生の、さすが中学生という憧れのまなざしが印象的でした。

あおぞら学級、ひだまり学級の生徒の皆さん、よくがんばりましたね。ありがとうございました。担任の先生方もありがとうございました。



ささやかですが・・・

12月15日(日)、PTA役員の皆様と職員有志で、弘済会長崎支部より創立70周年記念事業「学校花いっぱい運動」でいただいた、チューリップとムスカリの球根を学校花壇に植えました。今年度、親子除草作業が2回とも悪天候により中止となり、そのリベンジとして企画していただきました。生徒たちを、いい環境の中で学ばせたいというお気持ちが嬉しかったです。素敵な花が咲くといいな・・・。

